

アースキャラバン 2018

楠本凜さん中東報告会に寄せる平和メッセージ

日本キリスト教団名古屋中央教会 牧師 草地大作

私たちが信仰の対象とするイエス・キリストは、パレスチナで生まれました。そして、「平和を実現する人々は幸いである」と教えられました。

イエスが教えられた平和は、単に戦争がない状態を指すのではなく、誰もが心地よく生きることができる、全人類的な安らぎです。そのイエスから始まったはずのキリスト教は、今の時代、決して全人類的な安らぎをもたらす働きをしていないのではないかと私は考えています。

パレスチナの現状や、そこで虐げられている人たちの声を無視して、強硬政策を採り続ける国家があります。その国家の最大の後ろ盾は、キリスト教を信じている人たちが多く住む大国です。もし、今イエスが生きていたとしたら、大国を戒めて、パレスチナの人たちの側に立つでしょう。私はキリスト教会の牧師として、虐げられている人たちの側に立つイエス・キリストを、しっかり告げ知らせたいと思います。そして、イエスによって告げられた「平和」を実現するために、これからも活動していきます。

私はアースキャラバンが標榜する、「国籍、人種、宗教、障害のあるなしに関係なく、『平和で豊かな世界を創ろう！』」という理念に、心から賛同します。今日は都合が付かず、報告会に参加できないのがとても残念ですが、このメッセージを通して、アースキャラバンへの応援と、楠本凜さんのピースサイクリングの成功を願う想いを、届けられればと願います。

この世界で平和が実現しますように。共に励みましょう。